

真に氣を使つてしんどい

三月十七日 火曜日 真に氣を使つてしんどい

夜、目が覚めたのは、真夜中一時頃だろう。

下で、お母ちゃんとお父ちゃんが、夜も遅いのに、けんかしている様子。

ガッチャン！

それに加わり、幹夫がお母ちゃんに、

「やめときなあ、なあ、お母ちゃん。」と口をはさんでいる。

お母ちゃんがどなる声が、一番、かん高く聞こえ、近所中に聞こえている。

何でもめてるか知らないが、下に降りるもむなし。

今まで、何回、降りて、静めに行つたか、わからないが、「今日はやめて、寝ましょ。」と目を閉じた。

母のヒステリには、頭を痛める。しかし、それなりの理由はあるんだらうが。

それでも静かになり、一時間程して、午前二時、目が覚めた。

今日から、もう春休み気どり。

それで、まず、学習予定を実行に移す。